

日本AM学会（中野彰）は、大阪冶金工業（大阪市東淀川区）社の寺内俊太郎氏を第1回の学会賞として表彰する。このほか功績を認め、大阪大学教員に三菱重工工業GTC事業部長代理の片岡正人氏など計13件の受賞者を決めた。2025年4月に発足した同学会としては初めて授賞式を開く。学会賞の寺内氏は金属粉末（AM）製造に早期から取り組

寺内氏（大阪冶金）を表彰

AM学会第1回学会賞

み、チタンの粉末製造から医療機器の社会実装まで一貫して手がけたことが評価された。片岡氏は発電用ガスタービンなどでAMの量産適用を推進。功績賞には、金属AMの粉末設計と高機能材料を開発した、東北大学教授の野村直之氏と、日本電子で電子ビーム金属3Dプリンタの開発をけん引した、先端技術コンサルタントの真部弘宣氏も受賞した。同学会は1日から北海道函館市で第2回講演大会を開催。学会賞と功績賞の計4人は2日に受賞講演を行う。

日刊工業新聞

THE NIKKAN

KOGYO SHIMBUN

8月26日水曜日

2026年（令和8年）